

## 第23回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 2013年5月31日(金)15時00分～16時00分
2. 場所 日本自動車会館11階  
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第2会議室
3. 出席者 大杉座長、渡邊委員  
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 再資源化支援部  
経済産業省・環境省担当官
4. 議題 1. 2012年度離島対策等支援事業実績報告(案)  
2. 2013年度離島対策等支援事業活動計画(案)

### 5. 会議の概要

(再資源化支援部)

議題1. 2012年度離島対策等支援事業実績報告(案)について説明。

(委員)

調査費の減少及び理解普及活動費の増加理由を知りたい。

(再資源化支援部)

調査は、市町村から相談があり必要と判断すれば現地にて調査・支援を実施している。訪問支援を要するような相談が殆ど無かったため、調査費が減少した。

理解普及活動は、2011年度に計画したが実施に至らなかったカレンダーによる事業周知を2012年度に実施したため、費用が増加した。

(委員)

育成した関連事業者の低稼働、不稼働について共通の課題はあるか。

(再資源化支援部)

関連事業者の高齢化及び自動車リサイクルを取り巻く経済市況の影響による経営面の課題がある。

(委員)

経済市況の変化が離島の関連事業者の動静にどのような影響を与えるかを注視されたい。

(再資源化支援部)

経済市況が関連事業者の動静に与える影響については注視する。

(委員)

市町村からの相談、問い合わせはどのような状況か。

(再資源化支援部)

事業開始後7年が経過し、相談、問い合わせ件数は年々減少している。今後は、市町村と緊密なコミュニケーションを図り、相談し易い関係を構築する。

(委員)

議題1. については、承認する。

(再資源化支援部)

議題2. 2013年度離島対策等支援事業活動計画(案)について説明。

(委員)

佐渡市における事業活用の回復について、関連事業者に新たに代替手段を探せということか、それとも確保された代替輸送手段を利用し事業を活用せよということか、説明されたい。

(再資源化支援部)

2012年10月に代替の輸送手段が確保されたが、代替の輸送手段を利用し搬出を行なった事業者からの申請が2012年度は無かったため、佐渡市を通じ当該事業者へ事業活用の働きかけを行っている。

(委員)

2013年度内に離島振興法の改正があった場合、新たに離島地域として認定された離島市町村は、2013年度から支援対象となるか。

また、事業参画を希望する市町村については、事業構築支援を柔軟に対応されたい。

(再資源化支援部)

離島地域のうち引取業者への使用済自動車の引渡しに支障が生じている地域として国に申し出て公示されることが前提条件となるが、2013年度から支援対象にできると考えている。

事業参画を希望する市町村については、事業構築について十分な支援を実施する。

(委員)

2013年度予算化した不法投棄対策支援事業2事案の進捗状況を説明されたい。

(再資源化支援部)

2013年度は2市町が事業活用を計画しており、うち1市は原因者が覚知できないため、公告の手続きを行っている。命令の履行期限が過ぎれば、事業の実施に向け準備が進むと思われる。

(委員)

2012年度に配布した事業周知カレンダーの評判はどうか。

(再資源化支援部)

事業周知カレンダーの評判については、まだ確認していない。例年3月に実施しているアンケート調査の中で、事業周知カレンダーの評判について確認する。

(委員)

議題2. については、承認する。

(再資源化支援部)

離島対策等検討会での承認を受け、2012年度離島対策等支援事業実績報告(案)について、2013年6月7日開催の第52回資金管理業務諮問委員会に上程する。

以上